



## 菊池寛と浄願寺

おたあさん、今日浄願寺の棕の木で百舌が啼いとりましたよ。



「父帰る」のセリフが刻まれた菊池寛文学碑

菊池寛の戯曲「父帰る」に出てくるセリフです。高松市中央公園に上記が刻まれた菊池寛文学碑が設置されており、近くに棕の木も植えられています。

浄願寺とは昔、高松市中央公園の場所にあったお寺です。高松藩主の菩提寺の一つで、とても大きなお寺でした。菊池寛の生家はこの近所にあり、浄願寺の棕の木で百舌が啼く景色は身近なものでした。

現在、浄願寺は移転し、高松市番町にあります。その浄願寺に昨年12月、棕の木が植樹されました。かつての「浄願寺の棕の木」を復活させようという試みです。

高松市中央公園は令和7年度以降より、リニューアル工事が始まる予定です。菊池寛の銅像や文学碑も工事中は見られなくなるかもしれませんので、今のうちにもう一度見られてみてはいかがでしょうか。

## 行事案内

### 菊池寛記念館 アニバーサリー

#### 古本まつり

3/1(土)-3/9(日) 9:00-17:00 (入館は16:30まで、月曜休館)

会場：3階菊池寛記念館 **要入館料** お好きな古本を5冊までお持ち帰りいただけます。



#### 菊池寛劇場

3/2(日) 13:30-15:30 会場：3階視聴覚ホール 先着200名

出演：劇団ドラマ・サロン 演目：菊池寛「青の洞門」(朗読) など



#### 菊池寛忌・ウォーキングイベント「ブラリきくちかん」

3/6(木) 10:00-12:00 場所：中央公園菊池寛像前に集合、浄願寺で解散 先着20名

**要申込** 申込は2/4(火)から菊池寛記念館へ直接、または電話(087-861-4502)



# おしらせ

※行事内容は一部変更になる場合がございます。



菊池寛記念館 文芸講座

## 高松が舞台になった村上春樹「海辺のカフカ」をどう読むか

1/11<sup>±</sup> 13:30-15:00 会場：3階 視聴覚ホール、先着 60名

講師：落合貞夫（文学研究者）

## 大島青松園における文芸活動の歷程をたどる —ハンセン病回復者が編んだ機関誌を中心に—

2/1<sup>±</sup> 13:30-15:00 会場：3階 第1集会室、先着 60名

講師：都谷禎子（国立療養所大島青松園 社会交流館 主任学芸員）

## 小説創作はじめの一步～読者を意識する～

3/1<sup>±</sup> 13:30-15:00 会場：3階 視聴覚ホール、先着 60名

講師：北澤佑紀（作家、香川菊池寛賞受賞者）

## 殷初伝説の諸相

3/29<sup>±</sup> 13:30-15:00 会場：3階 第1集会室、先着 60名

講師：古橋紀宏（香川大学 教育学部 准教授）

すべて  
入場無料  
申込不要



菊池寛記念館 コレクション展

入場無料

## つなぐ香川の文学—香川菊池寛賞の60年—

1/28<sup>㊤</sup>-3/30<sup>㊤</sup> 9:00-17:00（入館は16:30まで、月曜休館、祝日の場合は翌平日休館）

会場：3階菊池寛記念館 研究閲覧室

香川菊池寛賞は本年度で第60回を迎えます。本展では第1回授賞式の写真や記念品、書籍などを公開し、香川菊池寛賞の歴史をふりかえります。また、これまでの受賞者の方からの寄稿文も紹介します。

### 冬の菊池さん第70号

発行：令和7年1月10日 菊池寛記念館（高松市昭和町一丁目2番20号／087-861-4502）

<https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kyouiku/bunkabu/kikuti/kantop.html>

